

(様式3)

自己評価結果票 アクティブライフ夙川

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設から10年になりますが開設当初から「地域と共に」の理念を基に地域の中で暮らすことの大切さを事業所独自の理念として掲げ実践している	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ネームの裏に10の約束として理念を具体化したものを携帯し、実践の場で確認が出来るようにしている。また管理者、職員は理念の実践について業務を振り返り、意見交換する機会を設けている。	朝礼などで毎日確認できるように意識してゆきたい
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	外出の行事 日常の買い物 通院など日常生活を通じた一人一人のかかわりを 知っていただくように努めている	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	門扉はオープンにしてあり、地域の自治会にも参加している 自治会の回覧板などもまわってくるため 近所の方とは 朝、夕の挨拶など気楽に交わしている	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行われる行事などに参加して利用者が地域で暮らせるための基盤作りを行っている。認知症の方々に対する理解を深めてもらうため地域のボランティアセンターの学習会のお手伝いなどしている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>キャラバンメイト養成講座等に参加している 地域の事業所とも連携をとり 認知症の方を理解して頂くための取り組みをしている</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>第三者評価をサービスの見直しの機会ととらえ、評価結果をミーティングの時間に話あい 今後のサービスの質の確保に最大限生かせるように努めている。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、4ヶ月に1回ほど開催している。ご家族、民生委員、市職員、責任者、知見者が参加してGHの現状報告や意見を伺い、季節の行事などに参加していただいている。GHの理解を深める機会になっている。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市が開催する研修などに参加している 社会福祉協議会が開催する さくら会などに参加して交流の機会としている。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護については、ミーティングなど利用して研修の機会としている また成年後見人制度について必要な書類を作成するなど支援をしている</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止、身体拘束はしない・・・との方針を徹底するためにミーティングなどを利用して管理者やスタッフは学習している（身体拘束ゼロへの手引きを使用している）</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>スタッフの異動については 出来るだけ利用者への負担やダメージが少ないように努力している。</p>	<p>スタッフの異動等が出来るだけ少なくなるように 人員体制に余裕を持って配置できるように 努めたい</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に法人内の研修の機会を持ち 計画的な研修の機会が持てるようにしている 外部の研修に関しても受講できる機会が持てるように計画がなされている。資格取得のためのバックアップもなされている</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス事業者連絡会や市主催の研修などに参加して交流の機会をもち サービスの質の向上に努めている</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>管理者やスタッフのストレスの軽減が出来るように 心のケアの学習会を定期定に開催したり スタッフ懇親会などスタッフ間の交流が出来る機会を設けている</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>管理者はスタッフ面談 評価を定期的に行い向上心が持てるように働きかけている、研修についての情報提供など積極的に働きかけている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家庭に訪問する日程を調整して本人からお話を聞かせていただく時間を設けている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>電話での依頼に対して、話を聞き 自宅に訪問して話を聞く機会を設けたり、 アクティブライフに来ていただき、話を聴く機会を大切にして、信頼関係が築けるような働きかけをしている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>どのような事がお手伝いできるのか フォーマル・インフォーマルなサービスも含めて、情報の提供に努めている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人、ご家族の方には 出来るだけ見学に来ていただき、ディサービスの体験をしたり 行事の時に気楽に参加していただけるようにしている。スタッフと顔なじみの関係が出来るように努めている</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>毎日の生活の中に朝の会で スタッフ、利用者が挨拶を交わして一緒に過ごす時間を設けている。季節感のあるお菓子の作り方を聞いたり、お花の生け方や花の名前を聞いたり いかなごの炊き方を教えていただいたりしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎日の生活の中で、ご家族と共にご利用者の支援をするように心がけている、また食事など一緒にする機会などを利用してお互いの関係が出来るようにしている。</p>	
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ご家族の方が訪問された時などに出来るだけ現在の状況をお話して、昔馴染みのことなども教えていただいている よい関係が継続できるように支援している。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>これまで大切にしてきた関係が途切れないように面会に来ていただけるように お声掛けをしたり音楽療法などの日程をお知らせして 楽しんでいただけるように努めている</p>	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士の関係が出来るように スタッフは利用者間の橋渡しが出来るように対応するよう心がけている</p>	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>ご退去された後も季刊アクティブライフを送付するなどして お付き合いしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>それぞれの方の思いや暮らし方の希望に添えるように毎日の生活の中でご本人が言われる「言葉」を大切に受け止めるようにしている、困難な場合はそのときそのときの表情を観察して対応している。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時にご家族の方からお話を伺い またその方の馴染みの物をお部屋においていただいているアルバムなど見させていただいたり 書かれた本を読ませていただいたりして、暮らしの把握に努めている生活歴などは スタッフ間で共有できるようにミーティングなどで話し合いをして記録に残すように努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人一人の生活の状況、身体状況は パソコンに入力して記録して、現状の把握に努めている</p>	
<p>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画はスタッフ間で話し合い ご家族の方とも相談して作成している そのときそのときの状況に応じて柔軟な対応を心がけている</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>特に体調の変化に対応するためかかりつけの医師との連携をとり 即対応するようにしている また病院などからの退院時には カンファレンスなどに参加して情報の交換を行い新たな計画に活かしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況は毎日対応したスタッフが記録に残して情報の共有化に勤めている ケア記録のほかに申し送りの記録を確認することで実践に活かしている		
3.多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	そのとき時の状況に応じて ホームヘルプ ディサービスの運転手 訪問看護ステーションとの連携をとり出来ることを柔軟に考えている		
4.より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年末の行事である お餅つきには 地域のボランティア。民生委員の方の協力を得ている 消防署の依頼によりA E Dの設置施設として 西宮市のマップにも掲載している		
41 他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域で生活するために地域のネットワークを活用して 病院 訪問看護ステーションなどと連携をとって支援している		
42 地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターにが主催される 困難事例 事例検討会などに参加して情報をえるようにしている		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>それぞれの入居者がいままでの馴染みの先生に診ていただけるように医療関係者そのつど連絡を取っている また囑託医と連携をとり健康の管理に努めている</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>通院できる方には 通院していただいたり2週間ごとに専門医に往診していただいている 状況の変化があった場合には ご家族に連絡をして一緒に受診していただいている</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>訪問看護師 囑託医の看護師には気軽に相談することが出来 顔なじみの関係も出来ている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>出来るだけ早く退院できるように入院時に病院の先生とお話する お見舞いに伺い途中の様子を確認しながら 早期退院に向けた話合いが出来るように対応している また退院後も病院と連携がとれるように早めに指示書をいただくように打診している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ターミナルケアに向けてはケアプランの中で 早い時期から話し合いを行い何度も協議して 方向性の確認をしている</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度の方への対応 ターミナルの方への対応についてはかかりつけ医とご家族スタッフと話し合いを持ち そのつどできることを確認している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>環境が変わることへの不安をすこしでも軽減するために入居に際して説明させていただいている またなじみの食器など使用して安心していただいている</p>	
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>コンプライアンス研修を基に個人情報の保護に取り組んでいる また言葉掛けは尊厳を持ち対応している</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご自分で選んでいただけるような言葉掛けを行い希望や思いを遠慮なく言っていただけるようにスタッフは配慮している</p>	<p>すぐにご希望に添えるような 個別の外出が出来るようにしてゆきたい</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々の生活に特に決まりごとはないが その日をどのように過ごすのか希望に添えているとはいいたい</p>	<p>特別なことはないが 穏やかにすごしたとの充実感がもてるような働きかけをしてゆきたい</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>身だしなみには心がけ おしゃれを楽しめるような支援をしている また理美容は以前は望む店に出かけていたが 現在は施設内に顔なじみの美容師の方に来ていただき少人数で対応していただいている</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持できる方には 所持していただきスーパーや近隣のお買い物などしていただいている 初詣のお賽銭 おみくじ お守りなど購入できるようにお手伝いしている</p>	
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>一人一人その日の希望にあわせて外出することはかなり困難ですが 出来るだけ屋外に出させていただくようにしている</p>	<p>その日の希望に沿っているとは判断できなくスタッフのシフトの状況を見て 屋外に出ている庭に出る楽しみを見つけていただけるように環境の整備を充実させてゆきたい</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>個別外出できるように家族と相談して準備している デパートのお買い物やドライブ お食事などそのときの状況にあわせて無理のない外出の援助を計画している</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>1階には公衆電話がある ご家族からの電話の引継ぎは各スタッフルームにつなぎ直接ご家族とお話ができるように支援している 手紙は毎日郵便が</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>いつでも訪問していただけるように訪問時間は特に決めていない また個人のお部屋で過ごしていただいたり 皆さんと同じダイニングで過ごしていただいたりしている</p>	
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束はしないとの方針を実施している またミーティングなどで身体拘束をしない取り組みについて理解している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関はオープンドアになっていて いつでも だれでも出入りできる	2階、3階に上がるエレベーターはテンキーになっているのでご利用者が降りたい時はスタッフがそのつど対応している。
67	利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常にさりげない見守りをしながら生活のお手伝いをさせていただいている 夜間は通常は2～3時間ごとに訪室して状況を確認させていただいている	
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	生活の中で必要なものをなくすのではなく どうしたら使うことが出来るかを考えて対応している (お裁縫道具、アイロン、包丁など)	
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	普段からヒヤリハット報告することで事故にならないように意識している 毎月のミーティングにて1人1人の状況について話し合いを行い予防に取り組んでいる	
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	利用者の急変に備えて 救急処置の手順を確認している	消防署の救命救急訓練に定期的に参加できるようにしていきたい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急訓練は年に2回行っている 地域の消防署と連携をとっている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>生活の中でのADLの低下 認知の症状の進行によって起こるであろうリスクについて状況レターの中で伝えている 出来ないことよりどうすれば出来るかを検討している</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>体調の変化については いつもと何が違うのかを観察した情報をすぐに伝えている かかりつけの医者にもすぐに報告して 通院。往診の対応をとっている 家族にもすぐに報告をしている</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>1人1人のお薬手帳を作成して通院時に医療に提供して重複しないように努めている 以前に服用した薬の副作用 容量など具体的に記録して間違いのないように支援している</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘の予防は薬に頼らずに 体を動かすこと 食べ物 お茶(健康茶)などに配慮して その方その方に対応している (毎朝の冷たいお水 ヨーグルト 果物など)</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行っている その方の状況に応じて歯ブラシなども考慮している</p>	<p>歯医者との連携を深め ケアに努めて行きたい</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>お1人お1人の病気の状態に応じて 医師からの指示など カロリーコントロールなども含め対応している お茶ゼリーを用意して水分の補給に努めている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>感染症マニュアルを作成して実施している 手洗いの励行 玄関入り口での消毒 マスクの準備 ノコ対策としては 10月から3月までは塩素を使用した掃除を徹底するなど全館で取り組んでいる</p>	
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>通常の食事は1階厨房で衛生管理を行うが 2階3階のダイニングでは生活の場として日常的に使う食器は食洗機を使用して衛生の管理に努めている 新鮮な食材の調達には買いだめしないですのつど近くのスーパー、業者に配達を依頼している</p>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>			
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関前はオープンスペースとなっており 門扉からは建物の中の様子が見えるように明るい雰囲気になっている またプランターに花を植えて季節感を出して親しみやすい雰囲気を心がけている</p>	
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活の場所としてさりげない音楽 適切な採光 季節感のある花を飾り 心地よく過ごせるように配慮している。</p>	
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ダイニング リビングには椅子がそれぞれに配置してあり 1人になったり、テーブルを移動することで 集団ですごすことが出来るように居場所の工夫をしている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
自己評価結果票 アクティブライフ夙川		取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームが開設されて 10年を迎えます 10年目を迎える入居者の方もおられます 毎日の生活の中でスタッフのかかわりは時間の共有との意識を全てのスタッフ間の共通の意識として取り組んでいる。また今出来ていることをすこしでも継続できるようにケアプランの中に位置づけている。外出など個別の対応をご家族の方とご一緒出来るように支援している。